

事務事業 No./名 称	■サービス部門 景観-03 風致地区事務 □支 援 部 門									
主管課	都市景観課					関連課				
分野名	都市景観									
目標 (目標値)	古都保存法や神奈川県風致地区条例等の許可基準等の徹底を図り、歴史的風土の良好な維持、継承を目指す。									
人口等の データ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備 考					
	人 口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世 帯 数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯						
	事業の対象者数									
運営資源 状 況	決算値(千円)	1,267	367	261						
	(国・県)	160	160	190						
	(負担金等)									
	(一般財源)	1,107	207	70						
	人員配置数	5.0	5.0	5.0						
	人件費(千円)	43,973	44,964	44,987						
	協働の パートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	45,240	45,331	45,247						
	市民1人当 りの経費(円)	255	257	256						
	対象者1人 当りの経費(円)	9,048,000	9,066,200	9,049,400						
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名	横浜市	横須賀市	藤沢市	鎌倉市	単位				
	全市域	43,498	10,068	6,951	3,953	ha				
	風致地区面積	3711.0	1356.0	584.0	2194.0	ha				
	風致地区割合	8.50	13.50	8.40	55.50	%				
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)			
		目標値								
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値								

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。				②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。			
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。				④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。			
小事業名	H22決算値	評価 適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)				⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止			
風致地区事務	1,267千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	古都保存法や神奈川県風致地区条例等の許可基準等の徹底を図り、歴史的風土の良好な維持、継承を目指す。								
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)									
H22年度の課題	・企業や個人の行為者等に対して「風致地区条例」はもとより「鎌倉市における風致地区条例の運用に関する審査基準」の内容の周知・理解を促進すること。また、古都保存法の趣旨、手続、規制等を広く市民や業者に理解してもらうこと。								
課題解決のための取組	・窓口相談や電話での問い合わせ、具体事例の申請事務など、日常業務のあらゆる場面で相手に丁寧な説明を心がけ、内容を理解し風致の維持に協力してもらえるよう、地道な努力を重ねている。								
未解決の課題	・風致地区や歴史的風土保存区域等は、豊かな自然と歴史的文化遺産を有する本市の風致維持、歴史的風土の保存を行ううえで重要な役割を担うものであり、今後も土地所有者や寺社、行為者等に風致地区条例及び古都保存法の手続、規制等に関する理解が得られるようにする必要がある。								
今後の方針	・「風致地区条例」の趣旨や規制等について、相談窓口や申請事務などあらゆる機会を通じて周知し、理解と協力を求めている。 ・古都保存法の趣旨、手続、規制等の啓発、周知に当たっては、引き続き業界、市民等に理解と協力を求めている。								
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒	B	※ □事業完了	課長名	都市景観課課長代理 芳賀 哲夫			

個別事業の概要

(単位:千円)

[illegible]